

磐城時報

編輯部 石城郡平野町十四
印刷部 石城郡平野町十四
發行部 石城郡平野町十四
電話 一四〇
代印 福島縣石城郡平野町十四
一 部 金 五 十 五 拾 銭
二 部 金 五 十 五 拾 銭
三 部 金 五 十 五 拾 銭
四 部 金 五 十 五 拾 銭
五 部 金 五 十 五 拾 銭
六 部 金 五 十 五 拾 銭
七 部 金 五 十 五 拾 銭
八 部 金 五 十 五 拾 銭
九 部 金 五 十 五 拾 銭
十 部 金 五 十 五 拾 銭
休 刊 (日 曜 祭 日)

石城郡の縣議選戰

二三派入り亂れて激戰 郡南民政候補一名の外 七名の候補者確定

縣議員選舉期も十数日に迫つる事二名になるわけである。石城郡に於ては野崎滿藏氏政友派に於ては皆ては全部政友が去る五日正式の届け出でな派議員のみ當選した経験有しし候補を聲明したのを魁とし最近まで政友四民政二名の割合で無産黨松本清之丞氏も六日立言は政友の絶対地盤と見られて候補を聲明するに至り、民政黨に於てはため今回推しでは過般選舉會に於て推薦された三名の候補者中一名でも落選した草野三郎、萩原義雄兩氏の立すれば政友二名の悲運を見る事候補は確定で、又政友派に於ては三名全部の當選に向は候補者の入選に苦心を重ねたつて猛運動を試みる筈である。結果漸やく井上茂作、赤坂一民政黨でも四名の當選は望み得田子健吉の三氏を公認候補者となし事でないとして敢然四名をする事に内定する十日豫選會を推した關係上之亦政友の地盤に開き正式に公表する筈で、郡南猛襲する計劃をたてゝゐる。更の民政黨候補者一名が決定せぬに無産黨では前回の縣議選戰にのみで特別の事情が起らぬ限り七百余票の得票をあげた経験あ以上七名の候補者は確定したるので努力次第で當選点し得るけである。然し民政黨では郡南のものとして炭礦、漁村方面に主を代表する候補者一名を推す事力を注ぎ奮闘する筈であるから疑ひのない事であるから候補石城郡内は日ならずして火花を者總数は八名となり定員を超過散らす激戰と化すであらう。

四倉市場七日取引

本年最高の價格 平均十貫匁三十二圓

四倉市場七日取引は三百九十最低は二十九圓六十錢、平均三五貫匁最高價格十貫匁三十五圓十二匁三十錢であつた。益々氣といふ本年最高價格を示した。配良好である。

二千五百ボルトの高壓線に 點燈針金を繋いで 少年の危険極まる惡戯

石城郡内郷村大字宮字竹の内敷 菓商二瓶章治長男武治(十四)は九月三日午前四時四十分頃自宅附近にある磐城炭礦の電柱に宅上り送電が休止であつたのを奇貨とし二千五百ボルトの高壓線に針金を繋ぎ自宅に引き入れ夜中平町一丁目田口博(十八)が激浪に浸はれ溺死せんとしたるを救助したるに付此程本縣知事より表彰された。

赤井嶽藥師

十一日、十二日祭日

日本唯一の龍燈藥師といはれる東北の靈山福島縣石城郡赤井村の赤井嶽の年一度の大祭は来る十一日から十二日にかけて催されるが、この夜は福島、宮城、茨城の各方面より數萬の善男善女が陸續として參集し山上においてヂヤンが念佛、盆踊を舉行する筈。尚十一日は新義真言宗管長旭純榮大僧正が大講經をなすので鐵道省では異狀の出を豫想して平野から赤井嶽の間を臨時運轉する筈である、尚平自動車協會では平日の三臺の外に十五臺の自動車を臨時運轉する筈である。

納税の代りに 石炭を納付 財政窮乏の好間村

石城郡好間村においては最近炭礦界不況のため諸税滞納の傾向甚だしくなつたので之が整理のために非常に骨を折つてゐるがために非常な苦境に陥つてゐるが、炭礦側は石炭で納めたといふ希望があるので現品引受を開始しこれを安價に販賣し村費に充當することをなつたさうだから買受け希望者は同村役場に照會して見るとよい。

五圓を詐取

平町二丁目長谷川義松(二五)は去る八月二十四日平町古鍛冶町川上タネ長女アキノ(十)を二ヶ年間前借四十圓で四倉町仲町根本店に女中に世話したが、長谷川方で舊盆になつたから歸宅せしめたいと頼まれたのを奇貨とし五圓を出さねば歸さぬと根本店で言つてゐると欺き五圓を詐取した事發覺詐欺罪で平署で取調中である。

双葉特信

歸營に遅れ 兵卒自殺

双葉郡上岡村霞ヶ浦航空隊第十五分隊二等機關兵三瓶治(二三)は六日朝日曜日であるため外室に午後七時半までの歸營時間に遅れたのを苦にして七日午前零時五十三分常磐線土浦荒川沖間茨城縣新治郡東村廣新山新田内地鐵道で自殺を遂げた。通知に接し實父が遺骸引取りのため急行した。

釜戸山 諏訪神社祭

石城郡渡邊村釜戸山諏訪神社はかねて社殿新築中の處落成したので来る十日(舊二十七日)秋季大祭並に落成式を舉行するが、近隣に響いた由來深い神社の事として講中も多く宵祭りから小名組の奉納になる樽踊、浪花節、芝居等の余興があるので當日は非常な雜沓を見るであらう。

小名濱校で 磯の華宣傳

小名濱實業補習學校長西山直三郎氏は生徒の實習によつて精製したわかれ「磯の華」を極力宣傳方を依頼するところであつたが、鳴戸わかめにも劣らぬ優良品である。

晩秋蠶の オシヤリ病

石城郡平窪村中窪佐藤某の飼育する晩秋蠶にオシヤリ病發生したので七日郡養蠶同業組合から佐久間技手出張防禦を講じたが蠶延の恐れはない模様である。

青年自殺を計る

不治の肺患を苦にした 元遞信省保險局員

五日午後四時頃石城郡勿來町勿來に飲んで自殺を企てたものと來關碑前に人事不省に陥つてゐる青年を發見植田署に届け出たので植田署からは係官出張同に入を勿來駅前片岡醫院診察所に運び手當を施してゐるが生命危篤である、携帶品を調べた結果同人は東京市小石川區表町六二越川八郎(二〇)と判明五五正午頃勿來關に至りカールモンを多

勿來森林組合創立

勿來町における部落有林野統一を計る森林組合の組織については既報の如く賛成調印を求め大具体案の準備と整つたので二十日頃頭會を召集することになつたが、これが創立總會は三十日頃開催する運びとなり森林事業の振興から大いに期待されてゐる。

釜戸山

石城郡渡邊村釜戸山諏訪神社はかねて社殿新築中の處落成したので来る十日(舊二十七日)秋季大祭並に落成式を舉行するが、近隣に響いた由來深い神社の事として講中も多く宵祭りから小名組の奉納になる樽踊、浪花節、芝居等の余興があるので當日は非常な雜沓を見るであらう。

釜戸山 諏訪神社祭

石城郡渡邊村釜戸山諏訪神社はかねて社殿新築中の處落成したので来る十日(舊二十七日)秋季大祭並に落成式を舉行するが、近隣に響いた由來深い神社の事として講中も多く宵祭りから小名組の奉納になる樽踊、浪花節、芝居等の余興があるので當日は非常な雜沓を見るであらう。

小名濱校で 磯の華宣傳

小名濱實業補習學校長西山直三郎氏は生徒の實習によつて精製したわかれ「磯の華」を極力宣傳方を依頼するところであつたが、鳴戸わかめにも劣らぬ優良品である。

梨品評即賣會

十九日午町に開く
石城郡果樹組合主催梨柿荷造講習會は十日午前九時から平町石城郡農會事務所樓上に開くが講師は東京販賣會所佐久間技師である、尚ほ梨荷造品評即賣會十八日審査、十九日即賣、二十日賞品授與の日割で平町に開催する。

四倉局八月成績

四倉郵便局八月の取扱作數左の如し
▲貯金受入壹千七百七十口、貳萬四千四百八十圓三十三錢、排出六百四十七口三萬一千二百十圓十七錢五厘爲替受入三百九十八口、九千七百二十八圓六十六錢、排出五百三十七口、壹萬二千二百六十圓七十七錢▲貯金新規三十五件



川柳反古籠

◎詩信集

◎夏季川柳漫文

◎板の間へ出るやノミの桂馬哉
モウ斯ふなるとノミの天下だ
トヲモ追付かぬ、やつと一疋
膚にして因果を含め死刑の宣告を與へてやると
◎血を別けた仲じやないかどノミは云ひ
に一寸見てゾツとする様なことが無いだけしほらしいところがある、去りながら世間を騒がした罪に依り塵にせんと思はゞ春季大掃除の時熱裏のくるりと板の間の接目とへ噴霧器で石油をブツかけてやると暗から暗へと葬られることを、ノウミン統つて考へ出したのは今より丁度四十幾んの昔だった。

坊やおち



ドライは(粉ミルク)

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉未牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ養養價の新鮮牛乳を得られます。

夏期に最も適した完全母乳代用品

森 ドライミルク

地方代理店

關

内

藥局

電話四〇番

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

新趣に輝き

實價を誇る... 大塚の運動具

各種運動服... 値下げ断行

御用は 大塚運動具部

平・田町 電話七七番

貸切は

乗心地ノヨイ

皆様ノ昭和タクシーへ

電話三四三番

花柳病科 専門

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番

腸胃

皮膚科

内科 専門
腸胃科 専門
皮膚科 専門
三陽製藥株式會社
久之濱新妻治郎
平町販賣店
山野邊藥局
鹽豚販賣
田町三二三屋

夏ハあせも、たぐれト吹出物ニ
才行水ヲ

冬ハ濕浴ヲ冷ニ込ミヨリ來ル諸病ニ

精浴バスエマー

使用量 洗面數滴 定 試用二十五瓦入 貳拾錢
行水五瓦 價 小瓶二百瓦入 壹圓
風呂十瓦 價 大瓶七百瓦入 參圓
(送料十二錢)

特約店募集 小 林 商 會
東京市麻布區山元町十三番地
接巻東京五二五〇五番

マダ御使用ニナリマセンカ

堅牢ト能率ノ上ル三公式ヲ

優秀ナル構造ト

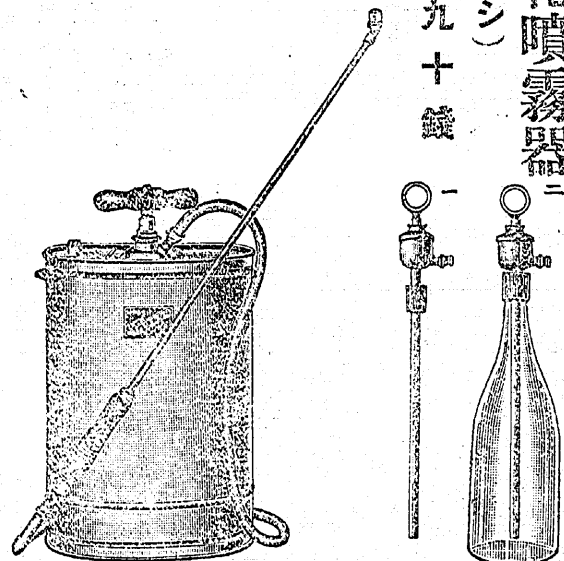
特長アル三公式噴霧器

瓶用文化噴霧器ニ

(ピンナシ)

特價九十錢

器霧噴式掛肩
付スーホムコ入布枚三
(入升五) 錢十五圓八價特



平町五丁目
釜屋商店
電話九九番